

# 一般質問通告書

No. 1

上記の件について、下記のとおり質問したいので、会議規則第 62 条第2項の規定により通告します。

平成 28 年8月 24 日  
東村山市議会議長 様

議席番号 9番  
質問者 渡辺 英子

## 記

番号	質問の項目と要旨
1	<p><b>災害に強い東村山へ「地域力」の更なる醸成を</b></p> <p>(1) 地域防災の組織の現状、役割について伺う。(東村山市防災ガイドから)</p> <p>① 自主防災組織について</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・地域防災組織の町別数、組織ごとの参加人数</li><li>・主な活動、訓練事例</li><li>・課題、今後の方向性</li></ul> <p>② 避難所運営連絡会について</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・進捗状況(編成状況、活動内容など)</li><li>・課題、今後の方向性</li></ul> <p>③ 事業所、地域団体との連携について</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・進捗状況(ネットワーク、活動内容など)</li><li>・課題、今後の方向性</li></ul> <p>(2) 防災組織が機能するためには、その基礎を支える「地域の緩やかなつながり」の醸成が肝要であると考え。現在、東村山市は比較的よいつながりが生きている地域であるがこの強みをさらに活かし広げるために以下、質問する。</p> <p>① 自治会、祭りなどのイベントなど「地域のつながり」を醸成している活動と防災・減災の機能強化との関係について、市として横連携の考えを伺う。</p> <p>② ①のこれまでの取り組みと今後の方向性について伺う。</p> <p>③ 広域の取り組みにより近隣市とも「ゆるいつながり」を持つ機会を増やし特に市境の市民に参加を促して減災の意識づけをしていくべきであると思うが、考えを伺う。</p> <p>(3) 災害に強い地域のつながりを作るために、市が果たすべき役割、市民への働きかけについて総括的に市長に伺う。</p>

番号	質問の項目と要旨
2	<p><b>災害に強い東村山へ「情報発信」のルールづくりと訓練を</b></p>
	<p>(1)市の SNS 活用方針について</p> <p>①Twitter の新しいアカウントである「東村山駅周辺まちづくり」の役割を伺う。</p> <p>②これまでの「東京都東村山市」アカウントとの違いはなにか。</p> <p>③Facebook なども含めた今後の発信媒体活用の方向性について展望を伺う。</p> <p>(2)HP、ツイッターなどの発信情報のルールについて</p> <p>①平時の発信に関するルールについて現状と考え方を伺う。</p> <p>②災害時など非常時の発信に関するルールについて現状と考え方を伺う。</p> <p>(3)災害時、平時の災害関連情報の整理、分析について</p> <p>①台風 9 号発生時の発信、受信情報の整理、分析の現状を伺う。</p> <p>②課題と今後の対策について伺う。</p> <p>(4)市民との協働に向けた動き</p> <p>①災害時に市民からの情報を収集し活用するルールについて考えを伺う。</p> <p>②市全体の多角的な発信情報集約の必要性和ネットワークづくりについて考えを伺う。</p> <p>(5)Facebook やインスタグラム、Twitter など SNS を使った双方向の交流を活用されている市長に、これから市として発信する情報、公(社協、教育機関、市民団体、企業など)が発信する情報、個人発信の情報の共有、役割分担について考えを問う。</p>